

2021年5月1日～2023年3月31日の間に 当院において子宮動脈塞栓術(UAE)前後のMRI検査を受けられた方 及びご家族の方へ

「子宮動脈塞栓術(UAE)前後のMRI画像診断におけるFFEEPIシーケンスを用いた非造影 MR-Angiographyの有用性についての検討」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学総合医療センター	中央放射線部	診療放射線技師	川崎侑紀
研究分担者	川崎医科大学総合医療センター	総合放射線医学	教授	加藤勝也
	川崎医科大学総合医療センター	総合放射線医学	講師	福原由子
	川崎医科大学総合医療センター	総合放射線医学	特任講師	小野由美香
	川崎医科大学総合医療センター	中央放射線部	技師長	田淵昭彦

1. 研究の概要

子宮動脈塞栓術(UAE)前後でのmagnetic resonance imaging (MRI)を用いた画像診断では、血管の走行や治療部位の評価は非常に重要です。当院ではこの血管評価に造影剤を用いた造影magnetic resonance angiography(MRA)を用いています。造影MRAは、目的とする血管を高精細に描出可能ですが、一方で目的血管に造影剤が到達するタイミングの設定を誤ってしまうと顕著に描出能が低下してしまいます。そこで、これまで造影剤を用いない非造影MRAを補助的に追加撮像していました。本撮像法は、短時間で良好な血管描出が可能です。また、造影Computed Tomography Angiography(CTA)と同等の血管画像を取得できることもわかっています。本研究では、繰り返し撮像することができ、より非侵襲的な手法である非造影MRAが造影MRAの代替検査として有用かどうかを検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2021年5月1日から2023年3月31日の間に川崎医科大学総合医療センター放射線科において子宮動脈塞栓術(UAE)前後の評価目的で造影および非造影MRA検査を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2025年3月31日

3) 研究方法

上記の研究対象期間に当院において子宮動脈塞栓術(UAE)前後の評価目的で造影および非造影MRA検査を受けられた方のMRI画像を対象に、血管描出を視覚的に評価し、非造影MRAが造影MRAの代替検査として有用かどうか検討しています。

4) 使用する情報の種類

MRI画像等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学総合医療センター中央放射線部MRI検査室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等(父母(親権者)、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人)を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年12月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<お問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学総合医療センター 中央放射線部

氏名：川崎侑紀

電話：086-225-2111 内線 82523（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

E-mail：yukibsb_140308@yahoo.co.jp

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。